平成28年度一般会計補正予算などを可決

6月定例市議会が6月9日に招集され、22日までの14日間の会期で開かれました。上程された議案は、平成28年度一般会計補正予算および特別会計補正予算など3件と、報告2件です。すべて原案のとおり可決されました。

上程された主な議案

◇平成28年度一般会計補正予算（第2号）

歳入歳出それぞれ7、472万5千円を追加し、補正後の予算総額は135億3、542万5千円となりました。

【主な歳出】

- 地域公共交通網形成計画策定委託料　450万円
- 介護施設整備事業補助金ほか　3、758万9千円
- 保育所等業務効率化推進事業費補助金　222万9千円
- 象潟都市農村交流センター浴槽等改修工事　420万円
- 経営体育成支援事業補助金　391万5千円
- 工業振興条例補助金　760万2千円

主な市政報告

◆平成28年度の課税状況について

5月末現在、軽自動車税の調定額は前年同期比13・1％、約797万円増の6、894万円で、固定資産税では前年同期比0・2％、約270万円減の12億7、500万円となっています。

個人市民税は、5月中旬に給与からの特別徴収分の税額を通知していますが、調定額は前年同期比3・7％、約2、600万円増の7億4、800万円となっています。この増額は、市内主要企業等の業績が好調なこともあり、給与所得者の所得額が増加したものと捉えています。

なお、個人市民税の普通徴収分および年金からの特別徴収分が確定するのは6月中旬となりますが、退職分を除いた個人市民税の調定額は、給与所得が伸びたことにより、前年度と比較して4％、約4、300万円増の9億7、000万円前後と見込んでいます。

◆地方創生総合戦略

昨年11月に策定した「にかほ市総合戦略」の着実な推進を図るため、事業実施にあっては政策間の連携のもと複数事業の一体的な取り組みが必要なことから、市役所内の全課長をメンバーとした「ふるさと創造会議」を立ち上げました。

また、行政外部の視点から総合戦略についてのご意見や検証等を行うための「ふるさと創造有識者会議」を設置しました。構成メンバーは、「産・学・官・金・労・言・住民」の分野で、各団体から10人としています。

◆無料職業紹介所の開設

総合戦略の施策に挙げている「首都圏等からの移住促進」や「産業を支える人材の育成・確保」の取り組みの一つとして、「にかほ市無料職業紹介所」を開設しました。

業務内容は、にかほ市に居住を希望する求職者への職業紹介事業で、求人企業の範囲は、にかほ市、由利本荘市、秋田市、遊佐町、酒田市に所在する企業としています。

また、開設に合わせ、職業相談員1人を配置し、職業紹介やマッチングを図っていきますが、求人企業の開拓や求職者の登録など、今後、本格的に進めていくことになります。

◆鳥海山・飛島ジオパーク構想

5月21日、千葉市の幕張メッセにおいて、日本ジオパーク認定のためのプレゼンテーションを行っています。

今回、全国で7カ所の地域が、日本ジオパーク認定の申請をしていますが、8月の現地審査を受け、9月に認定の可否が判明する予定となっています。

引き続き、出前講座やガイド養成講座の開催、小中学校でのジオ学の普及など周知活動を行いながら、現地審査の受け入れ準備を進めていきます。

プレゼンテーションの様子（5月21日）

◆熱回収施設等建設工事

本体機械設備工事は完了し、外構工事の一部を残すのみとなり、5月末現在の進捗率は約97％となっています。

4月21日に「火入れ式」を行い、25日からは収集ごみの搬入を開始し、5月2日から焼却炉等の負荷試運転を行いながら、各種設備機器の性能試験を行っています。

また、従事する作業員等の教育指導も行っており、6月13日からは家庭や事業所からの持ち込みごみの受け入れを開始する予定としています。

◆特別養護老人ホーム等の整備計画

本荘由利広域市町村圏組合の「第6期介護保険事業計画」では、平成29年度に、にかほ圏域で50床の施設1カ所を整備する計画としており、本年2月の市広報で建設に向けた事業者を募集したところ、応募は社会福祉法人・象潟健成会のみであり、3月22日に事業内容の説明を受けています。建設場所はTDK㈱旧象潟工場の跡地で、特養50床に付属してデイサービス、ショートステイ30床を整備するほか、通所の障がい者施設を建設する計画となっています。

本年10月以降の県への説明・審査・決定を経て、29年度に県補助金を活用しながら同法人が施設を整備することになります。

◆にかほ市観光拠点センター「にかほっと」

4月9日、秋田県知事や国会議員等がご臨席のもと、グランドオープンし記念セレモニーを行いました。当日は、秋田舞妓や酒田舞娘のイベントなどが行われ、市民や観光客で終日賑わいました。その後もゴールデンウィークを含め、多くの来訪者がありました。今後は、エントランス前の広場やフードコートを活用したイベントを開催し、市内外からの誘客促進に努めていきます。

なお、ゴールデンウィーク期間中に15分程度の断水が起こりました。1店舗で8トン以上の使用量があったため、節水に努めたところ、翌日以降は同様の事態は生じていません。

その後の調査・検討の結果、現状の設備で対応可能であると判断しています。

主な教育行政報告

◆象潟地域の3小学校統合

にかほ市学校規模適正化検討委員会から象潟地域の3小学校統合についての「提言書」が、2月15日に市長および教育委員長に提出されました。

その後、4月18日に市長および教育委員（5人）で組織する「にかほ市総合教育会議」における協議により、提言どおり平成30年4月に象潟小学校と上浜小学校、上郷小学校を統合する方針を決定しました。

今後、教育委員会が7月に象潟、上浜、上郷地区の保護者や地域住民に対し、方針を伝えるための説明会を行います。

◆「にかほ型小中一貫校教育」の推進

にかほ市は、小中連携を重視して中学校区毎に授業交流会を開催し、教職員間の連携を推進してきましたが、義務教育学校設置が可能となった今年の4月1日付けで、金浦小学校と金浦中学校を「にかほ型小中一貫教育モデル校」に指定し、その指定期間を3年としています。

両校の教職員が、9年間で目指す子どもの姿を共通理解し、同じ目標に向かって一緒になって取り組んでいきます。また、学校運営協議会を一つにして協議・支援していく形をとります。